

人・農地プラン(庄内)

市町村名	地区名	作成年月日	直近の更新年月日
浜松市	庄内	R3.3.31	R5.3.31

【全体】

①地区内の耕地面積(全農地-耕作放棄地)	526.4 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	363.1 ha

【田】



1. 水田の現状

①耕地面積(全農地-耕作放棄地)	92.5 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	70.2 ha
③出し手面積(アンケート結果)	22.2 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	2.4 ha
ii 70歳以上・後継者いない	14.5 ha
iii 69歳以下・減らしたい	5.3 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	ha

2. 考察と課題

- ・水田を耕作している担い手農業者は10名。うち耕作面積1ha以上の大規模な担い手農業者は2名
- ・水田の9%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。
- ・水田は全体的に耕作放棄地が多い。

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

- ・耕作拡大の担い手農業者はいない。

【畑】



1. 畑地の現状

①耕地面積(全農地-耕作放棄地)	433.9 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	292.9 ha
③出し手面積(アンケート結果)	81.6 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	8 ha
ii 70歳以上・後継者いない	52.9 ha
iii 69歳以下・減らしたい	20.7 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	26.3 ha

2. 考察と課題

- ・畑を耕作している担い手農業者は67名(露地畑作19名、ハウス畑作51名、露地果樹7名、ハウス果樹3名、畜産1名、その他8名)
- ・畑の18%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。
- ・ハウス作が多く、ハウス作専業化により、露地畑の遊休化が進んでいる。
- ・土地利用型耕作を中心に、新たな担い手農業者が進出している。
- ・谷地、山際に耕作放棄地が存在する。
- ・村檜臨海地区では、農地集積事業が進められていて、担い手農業者への農地集積が進んでいる。

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

- ・露地畑作、施設畑作を中心に16名の担い手農業者が、計26.3haの耕作地拡大を希望している。
 - ・1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者は露地畑作を中心に7名、計24ha
- 【方針】村檜臨海地区については農地集積事業により引き続き、計画的な農地集積を進めるとともに、耕作地交換による集約化や、集約に支障となっている放棄地の再生利用を進め、農作業の効率化を図る。その他の地区については、耕作地拡大希望者へ農地を集積する。

【その他】

【令和4年度の動き】

- ・R5.3時点の担い手数 ※()内はR4.3からの増減
田: 現数5名(2増、2減)、畑: 現数63名(3増、5減)
- ・耕作放棄地の利用調整(庄和村檜地区・土地改良区)
- ・農地の利用調整(村檜臨海地区・土地改良区)
- ・水田の畑地利用の基盤整備事業(前田沖地区・推進組織)

- ・11/24地域の話合い開催
- ・話合いのテーマ: 農業が継続できそうなエリアと継続が難しそうなエリア